

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2025年 5月 27日

事業所名 チャイルドCOCO羽島

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化さ れた環境になっているか。また、障がいの特 性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー 化や情報伝達等への配慮が適切になされて いる	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境 になっているか。また、子ども達の活動に合 わせた空間となっている	○		毎日の清掃を行い、常に清潔な環 境を整えている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい る	○		定期的にミーティングを行い、業務 改善につなげている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対 して事業所の評価を実施するとともに、保護 者等の意向等を把握し、業務改善につなげ ている	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評 価表の結果を踏まえ、事業所として自己評 価を行うとともに、その結果による支援の質 の評価及び改善の内容を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	○		事業所のホームページを通して公開 している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている		○		他者の目による評価も業務改善に有効であると考えてい るため、今後、評価結果を業務改善につなげていきたい
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	○			
適切な支 援の提 供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 児童発達支援計画を作成している	○		各事業所や保護者との担当者会議 等を通じて、子どもの実態を把握し た上で、子どもと保護者のニーズや 課題を分析し、支援計画を作成して	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために 、標準化されたアセスメントツールを使用し ている	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイ ドラインの「児童発達支援の提供すべき支援 」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、 「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容か ら子どもの支援に必要な項目が適切に選択 され、その上で、具体的な支援内容が設定さ れている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われて いる	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		定期的にミーティングを行い、プログ ラムを立案している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	○			
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を 作成している	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	○		毎日の支援記録を元にミーティング を行い、職員間で確認している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし 、その日行われた支援の振り返りを行い、気 付いた点等を共有している	○		ミーティングや支援記録を読むこと によって共有している。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し 、支援の検証・改善につなげている	○		毎日、支援記録を記入し、職員間で 読み合い支援の改善に努めている	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援 計画の見直しの必要性を判断している	○		それぞれの児童の支援計画見直し 時期にはモニタリングを実施し、計 画の見直しの必要性を判断している	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加するようにしている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		連携が必要な子どもがいる場合は、連携して支援を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	現在、医療的ケアが必要な子どもや、重症心身障がいのある子どもの利用がない。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	現在、医療的ケアが必要な子どもや、重症心身障がいのある子どもの利用がないが、準備はしておきたい。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			現在は保護者を通しての情報共有が多いため、今後は保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校等との情報共有、相互理解をさらに図っていききたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			現在は必要な子どもの利用がないが、今後、必要に応じて情報提供を行っていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他の専門機関と連絡を取り合って助言を受けている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		障がいのない子どもと活動する機会がほとんどないため、今後検討していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			(自立支援)協議会子ども部会等には参加しているが、地域のものには参加できていないため、今後検討していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳などを通して、子どもの発達の状況や課題について、保護者との共通理解を図っている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		家族支援プログラムの支援は必要であると考えており、現在検討している。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		来所時や契約の際に、丁寧に説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		随時、保護者からの相談に応じ、必要な助言や支援を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在、検討している。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月のおたよりやブログなどを通じて、活動概要や行事予定などの通知をしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		情報が漏れることがないように、個人情報の入ったファイル等は鍵付きのロッカーに厳重に保管している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在、検討している。